



No. 79

鹿私幼 だより

会 報

（一社）鹿児島県私立幼稚園協会

発行人／上原 樹縁 編集／調査広報委員会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号
（プロパングス会館 5 階 502 号室）
TEL099-285-6688 FAX099-285-6689
ホームページ <http://muzoca.net>
E-Mail jimukyoku@muzoca.net

『いよいよ小学校学習指導要領全面实施, 「良質の教育・保育」を願って』

鹿児島県私立幼稚園協会

会長 上 原 樹 縁



子ども・子育て支援新制度が施行され5年が経過しました。子ども・子育てを取り巻く環境は、年々大きく変わってきています。各市町では、教育・保育の量の確保は勿論のこと、更なる質の向上や多種多様のサービス拡充も言及されてくることでしょう。

子育て家庭の立場からすると、昨年10月から3～5歳児は原則全世帯（0～2歳児は住民税非課税の低所得世帯）を対象に、幼児教育・保育の無償化が実現されました。無償化となることで、今後どのような影響が出るか心配されるところです。教育基本法第10条に「子の教育の第一義的責任として“家庭の役割”」を定義づけています。これらのことを、社会全体でもっと再認識できるような働きかけも必要になってくるのではと案じます。

また、平成30年度より実施された幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等を十分に理解・実践していくなかで、自園の理念や教育・保育内容の在り方等をしっかりと丁寧に見直し再構築していくことが、教育・保育の「質の向上」へと繋がっていきます。そして『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』をしっかりと丁寧に小学校に伝えていきましょう。新年度（令和2年度）より小学校学習指導要領改訂版が全面实施されます。小学校との接続や連携の在り方、関係性などの環境を整えていきましょう。

私たちのこれからの教育・保育実践は、まさしくこれからの日本を、世界を背負って立つ「ヒト」づくりの基礎となります。幼児教育の

本質を見失うことなく、公教育の一端を担う施設として襟を正し、健全な経営のもと、良質な教育を目指して切り拓いていこうではありませんか。私たちの使命はこれまで以上に大切に取られていきます。これらのことを各自が更に強く認識し、教育・保育実践を継続していきましょう。そのためにも、我々の業界でも叫ばれている「働き方改革」をベースに、教育・保育や行事の在り方、研修や記録等の在り方、組織（チーム）の在り方等の見直し地点としての認識を共有し、改善・活性化された好循環な環境整備を整えていきましょう。

意欲や情熱を常に持ち、元気で明るい先生方が保育活動に取り組んでこそ、子どもの健全な育ちや成長に繋がります。そして、子どもの育ちや成長そのものが保護者や家庭の喜びとなり、幸福に満ちあふれた社会基盤の整備へと繋がっていくことと信じます。みんなで力を合わせ、『燃える情熱を 子どもたちの夢に！』という熱い思いを寄せ合い、ともに育ちあいながら、「良質の教育・保育」をこれからも有言実行していきましょう。

最後に、今年度も（一社）鹿児島県私立幼稚園協会の事業活動に対し、多大なご理解ご協力を賜りました。協会役員を代表致しまして、心より感謝申し上げます。

また、令和2年度は（一社）鹿児島県私立幼稚園協会創立70周年を迎えます。記念事業と祝賀会も企画して参りますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。感謝。

教職員の資質向上と教育活動の充実に向けて

教育研究委員長 内園 良喜

I 令和元年度の活動を振り返って

基本方針に基づいて計画した各種研修会については、新幼稚園教育要領、新幼保連携型認定こども園教育・保育要領の施行2年目や私立幼稚園等を取り巻く現状を踏まえて、その内容や方法を見直しながら予定通り実施することができた。また、研修スタンプシールのよりの確な配付に努めるとともに幼稚園ナビを通した参加申し込み等にも取り組んだ。

1 新規採用教員研修会

第1回目を4月4日（木）に、第2回目を12月25日（水）に開催した。1回目は121名の参加で、研修態度も熱心で緊張の中にも意欲が感じられた。2回目は99名で、例年と比べると少なかった。しかし、グループ協議においては、経験したからこそその感想や意見、悩みなどが出され、意義ある研修ができたと考える。「多様な実技指導があり、3学期に生かしたい」「自分の保育を見直し向上させていきたい」「同じような悩みを抱えていることが分かってほっとした」などの感想が多く寄せられた。

2 主任等研修会

6月24日（月）、「マリンパレスかごしま」で実施した。本年度は、幼稚園教育要領等の改訂、本格実施を踏まえ、カリキュラムマネジメントに関する研修を設定した。グループ協議では、職員指導や研修の充実、働き方改革等について熱心に意見交換がなされた。めいろうこども園の森山雅代先生の体験発表も大変参考になった。本年度も、112名の出席で、充実した研修であった。

3 第58回鹿児島県教職員研修大会西薩大会

7月22日～23日、川内文化ホールを中心に、全体会と12分科会を実施した。昨年度より約80名多い1229名の参加であった。参加者が予想以上に多かったが、西薩支部の各会場園の多大なご理解・ご協力のおかげで、公開保育、分科会、ポスター発表ともに計画どおり実施することができた今回、初めて、12分科会をマネジメント分野研修として設定した。104名の参加があった。

4 第20回乳幼児教育・保育実践講座

8月7日と8月30日に、「マリンパレスかごしま」で開催した。新幼稚園教育要領等に基づく教育・保育の本格実施を踏まえた「教育課程の編成・実施」や、「乳幼児期の健康

教育と健康管理」、「人権教育」、「特別支援教育」などの講座を設定した。本年度の参加者は昨年度とほぼ同じ91名であった。

5 免許状更新講習（選択6時間）

乳幼児教育・保育実践講座の1日目の2講座を当てて実施した。受講者は13名で、昨年と比較すると38名の減だった。試験会場には緊張感が満ちていたが、講師の適切な指導もあり全員合格した。受講者減の背景等を分析し対応を考える必要がある。

6 保育教諭等研修会

本年度も、県子育て支援課からの委託を受けて11月5日～6日に「マリンパレスかごしま」で開催した。研修内容として、絵本の読み聞かせ、乳幼児期の発育・発達と教育・保育、特別支援教育、感染症対応、マネジメント研修、実技指導等を設定した。協会加盟園から64名、加盟外の公・私立の幼稚園、保育所、認定こども園から48名の教職員が参加し、熱心に講義を受けたり協議したりした。ただ、昨年より約130名の減であった。背景を分析し、時期、内容等を改善していく必要がある。

7 第23回幼稚園等教育改善研究会

1月17日（金）～18日（土）に鹿児島市で開催した。参加者は77名で、昨年度と比べて56名少なかった。1日目は、第一幼児教育短期大学の西元道子先生の講話とワークショップがあり、カリキュラムマネジメント等について研修を深めた。2日目は、まず、信愛こどもの園と共立幼稚園がすばらしい事例発表をしてくれた。後半は、教諭部会では園内研修や後輩育成等についての熱心な協議が行われ、設置者・園長部会では「同一労働同一賃金」に関する研修が行われた。いずれも有意義な研修となった。

8 各支部・ブロックごとの研修

各支部・ブロックにおいて、教育研究部員を中心に年間研修計画を立て、経営、教職員の資質向上、県大会のテーマ研究、当面する課題等、多岐に亘った研究・実践が推進されており、大きな成果を上げていた。各支部の研修意欲の高さが感じられた。幼稚園ナビを使った研修申し込みや研修スタンプシールの発行についても円滑に進められている。

9 キャリアアップ研修会Ⅱ

教職員の資質向上と処遇改善Ⅱに係る必須

研修の補完を意図して、本年度初めてマネジメント分野の研修会をこの時期（2月13日）に実施した。研修内容は夏の県教職員研修会特別分科会と同じ。参加者は20名であった。今後も反省を踏まえながら本研修の充実、マネジメント分野研修の充実を図っていききたい。

Ⅱ 令和2年度に向けて

新幼稚園教育要領等に基づく教育・保育の本格実施3年目となる。又、幼児教育無償化も施行された。こうした社会の情勢や保護者の要望等を踏

政策委員会

令和2年度に向けて

政策委員長 島谷 精利

すべての子どもに質の高い幼児教育を保証することや子どもたちの最善の利益の実現のため日々設置者・園長先生方は努力されていることと思います。

さて、新制度の下、施設型給付の園に対しては、処遇改善Ⅰや処遇改善Ⅱ等の様々な加算がなされています。私学助成園に対しても処遇改善の動きがありますが、制度の違いにより同じような補助は難しい現状です。私学助成園でも施設型給付園と同様に人材確保が重要な問題となっており教職員の処遇改善の実施は重要な課題となっていることは事実であります。

令和元年度も、私学助成と施設型給付という二つの立場で予算の要望や陳情を行いました。令和2年度も様々な形態の施設が混在する中での活動となります。要望先が県だけではなく市町村にもなっています。特に昨年10月より幼児教育・保育の無償化が始まり市町村との関係が深くなってきました。従いまして市町村への要望は各地域の園での交渉となることも多くなると考えられますので、各地域の行政機関との繋がりを深めていきたいと思います。

皆様のご意見を元に実情に即した活動と前年度同等以上の予算獲得に努力して参りたいと思います。

1 政策委員会の活動報告

- (1) 九州地区幼児教育合同会議・自治体・役員交流研修会

九州各県の団体長、行政の担当者、政策委員長の談話で今後の課題について意見交換を行いました。

- (2) 公明党（国会議員、県議、市議、）

昨年に引き続き公明党との意見交換会が開かれ子ども・子育て新制度等についての意見交換を行いました。

- (3) 自民党友好団体意見交換会（国会議員、県

まえながら、子どもの目線に立ち、又、子どもの発育・発達を踏まえて、より質の高い乳幼児教育・保育を進めていかなければならない。そのために、研修内容、研修方法等の一層の工夫・改善を図っていききたい。又、各園における系統的・効果的な園内研修や学校評価も促進していく必要がある。令和2年度第59回県教職員研修大会鹿児島大会は県私立幼稚園協会設立70周年記念と抱き合わせて実施することになっている。意義ある大会となるよう、円滑に推進できるよう関係者と緊密に連携をとっていききたい。

議、鹿児島市議）

子ども・子育て新制度について、私学助成と施設型給付について等の意見交換を行いました。

- (4) 自民党県議団私学振興調査会幼稚園協会意見交換会

- ・調査会に説明を行い新制度について理解を深めて頂きました。

- ・私学助成園に対する処遇改善が実施されましたので、補助の充実と利用しやすい仕組みとなりますよう要望しました。

- ・人材確保のための給付型の奨学金の創設を要望しました。

- ・幼児教育の質の向上のために幼児教育センターの設置を要望しました。

- (5) 県知事への予算要望書提出

- ・例年私立幼稚園の「経常費補助金」への財源措置並びに現在予算化されている項目の補助金について、可能な限りの引き上げと新制度下での変化に対応する予算措置等をお願いしました。

- ・幼児教育の質の向上のために幼児教育センターの設置を要望しました。

- ・退職金社団への補助金の増額を要望しました。

2 今後の課題

平成27年度の子ども・子育て新制度施行後、施設型給付園には処遇改善等の各種加算が始まり、平成29年度からは私学助成園に対しても処遇改善が行われました。しかし、制度の違いにより、施設型給付園に比べ私学助成園の方が、依然として、園負担が大きくなっています。

教職員の処遇改善につきましては、制度上、施設型給付園と私学助成園の処遇改善額が同額となることは難しいと思いますが、可能な限り近づけるように要望していききたいと思います。

令和2年度も引き続き、県に、各市町村における、公私幼保並びに地域間の格差が無く成る様要望していきます。

幼児教育への公費負担が増加する中、幼児教育の質の向上が強く求められています。幼児教育の質の向上のため幼児教育センターの設置を強く要望したいと思います。

令和元年度10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、事務作業の増加や預かり保育児の増加による保育の質確保の難しさ、幼児教育に係る準備時間の確保の難しさなど様々な問題が

起こっています。これらの事象について情報を収集し対処していきたいと思います。

公私幼保並びに地域間の格差が無くなる様に各支部ブロックにおいても近隣の幼稚園や認定こども園・保育所などと連携し情報を共有して、各担当市町村に対し要望していくことも必要かと考えます。

今後も、支部・ブロック・各園が市町村の担当課との良好な関係を築くことが重要となりそのような関係を結べるよう努力していきたいと思います。

経営研究委員会

活 動 報 告

経営研究委員長 武 祥三

2年ワンタームの県協会委員会活動の2年目、今年度の経営研究委員会は、4月18日に第1回経営研究委員会・部会合同会議を行いスタートしました。今年度も前年からのメンバー、経営研究委員プラス経営研究部員13名で活動を行ってきました。2月19日には今年度10回目となる部会も計画し、役員改選のある来年度を見越した活動を展開してきました。

今年度の主な活動は、以下の通りです。

- ① 平成30年度の財務状況調査及び分析
- ② 私立幼稚園教員採用候補者試験の実施ならびに合同就職説明会開催
- ③ 学生・幼稚園教諭及び保育教諭希望者向けDVD制作
- ④ 県設置者・園長研究協議会「幼児教育・保育の無償化を目前に、地域の中の幼稚園としての可能性を考える～働き方や地域との繋がりにより意識して～」のテーマで開催
- ⑤ 第35回 全日本幼稚園連合会九州地区会設置者・園長研修大会 鹿児島大会の開催ならびに九州地区次世代交流会開催
- ⑥ 全国（和歌山県）設置者・園長研修大会への参加
- ⑦ 九州地区合同就職説明会（福岡市）への参加
- ⑧ 私立幼稚園4団体教育交流会（川越市）
- ⑨ プロジェクトKの活動支援

令和元年度の経営研究委員会及び経営研究部会の活動ですが、年度当初は6月開催の「九州地区会設置者園長会」と、8月に実施した「教員採用候補者試験」・「合同就職説明会」の開催準備に注力しました。8年ぶりの「九州地区会鹿児島大会」とあって、前回大会や他県の取り組みを参考にしながらも、これまでになかった講演の先生方のご登壇で、「鹿児島らしさは出せたかな」と振り返

るところです。開催までには、部員それぞれに役を担ってもらったと同時に、プロジェクトKのメンバーとの連携も図られ、次世代交流会・本大会と「鹿児島の若手」に大きな注目をいただいたことと、その評価は若い担い手の先生方に大きな自信までも提供できたのではなかったかと思っています。また8月に開催した「教員採用候補者試験」・「合同就職説明会」は、今年度も学校法人原田学園様のご協力のもと、受験生には前年度に引き続き「試験」から「説明会」の流れで実施しました。受験者数が昨年度460名から今年度385名と大きく減ったことも心配なところでした。そして一方「説明会」は、昨年度48ブースの申し込みが今年度63ブースの申し込みとなって、フロアを分けたことや、有資格者・これからの資格保有希望者までを対象に、「説明会」を2部制で行いましたが、まだまだ多くの課題を感じる点もありました。思っていたほどの活用に至らなかった法人・園様には、申し訳ございませんでした。職員採用に関わるこれらの取り組みは来年度以降、経営部会にとどまらない広い意見や関わりをお願いして、更に改善された取り組みになって成長することを願っています。

幼児教育保育の無償化も始まり、経営の観点、国全体の出生数が100万人はおろか一気に86万人を切った現状と「人材確保」とのバランスなど、経営委員会としての課題はますます山積です。

経営研究委員会・部会のこの1年の活動と、2年間の取り組みにつきまして、会員の皆さまには、多大なるご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今後とも積極的な協力をお願いし、一歩ずつ前進のある経営研究委員会・部会であるように支えていただきたいと思います。ありがとうございました。

瑞宝双光章を受けて



園尾 憲一

鹿児島市
学校法人 広福学園
竹の子幼稚園
理事長・園長

昨年5月、令和初の叙勲（瑞宝双光章）の榮譽に浴することができ、すべては鹿私幼の先生方をはじめ多くの方々のお支えあつてのことと心から感謝申し上げます。

思えば、大学院での専攻は聴覚心理学でしたが、愛知県で幼稚園を開園した先輩に「あっち向けホイ」と人生の転路器を門外漢の幼児教育へと切り替えられるなど、大切な場面で『人』に恵まれ幸いでした。ピアノが弾けないのでアコーディオンを引っ提げクラスを駆け回り、発達心理検査などしていたのが昨日のここのようで「青春悔いなし」です。

帰鹿し某短大にて心理学を担当する中、地域の人々が署名運動で竹の子幼稚園の開園にご尽力くださり、ここでも『人々』に恵まれました。以来、「子どもたちの『育つ力』を育てる」をスローガンに「遊育・共育・療育」の三育を実践してきて、この3月で創立40周年を迎えます。これらも偏に教職員や保護者に恵まれたからこそ。

また、県協会で12年もの長きに渡り会長として職責を与えていただけたのも、諸先輩のご指導あつてのことと、更には、しっかり後任にバトンタッチできたのは若手の先生方の台頭と後押しあつてのことと、これまた『人々』に有難く感謝いたします。

さて、今は、白秋から玄冬に足を踏み入れ終活中ですが、いただいた『人との御縁』を大切に、残された時間を座右の銘である「Age quod agis アゲ クォド アギス」（ラテン語で、自分の本分を全うせよの意）で、与えられた目の前の「幼児教育の道」で完全燃焼したい。

鹿児島県私立幼稚園協会 会長表彰 優秀教員表彰を受けて



藤原 美絵子

鹿児島市
学校法人 伊敷町学園
認定こども園
伊敷幼稚園
主幹保育教諭

このたび、鹿児島県私立幼稚園協会会長表彰をいただき、誠にありがとうございます。幼稚園教諭となり、これまで数えきれないほど多くの人達と出会うことができました。最近、自分が受け持った子ども達と職場体験や実習で再び園で会う機会があると、懐かしさと月日の経つ早さを改めて感じています。

これまで、自分を指導し、育てていただいた理事長先生、園長先生をはじめ、先輩の先生方、また周りで支えてくださる皆様のおかげで現在に至っています。担任時代に培った様々な経験や楽しい思い出を胸に、今、主幹教諭として何ができるか考える日々です。

園児が楽しんで過ごせる環境作り、親子で楽しめる行事の企画、また、子ども達にとって何よりも大切な『遊び』の場の設定、現場で働く職員一人ひとりのやりがいや達成感を持てる環境作り等、多くの課題と向き合っています。『楽しさと感動』『笑顔と創造』という本園の合言葉は、私が主幹として物事を考える基本となっています。

先日、保育士を目指す学生たちと就職について話す機会がありました。保育士不足と言われる今、次の若い世代に、幼児教育は、子どもと関わることのできる素晴らしい職業だと発信していく事も必要だと感じました。今年は、伊敷幼稚園が50周年を迎え、新たな一歩を踏出す節目の年となりました。「こどもがまんなか」の理念のもと、これからも学び続け、チャレンジしていこうと思います。本当にありがとうございました。



吉田 桂津代

鹿児島市
学校法人 善き牧者学園
幼保連携型認定こども園
谷山善き牧者幼稚園
主幹保育教諭

第58回鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会におきまして「鹿児島県私立幼稚園協会会長表彰」を拝受いたしました。このような身に余る榮譽を受け、驚きとともに大変うれしく光榮に思っております。

この度の受賞の機会をいただきましたのは鹿児島県・市私立幼稚園協会の皆様をはじめ先輩の先生方や同僚、保護者の皆様方のご指導ご支援のおかげと心から感謝しております。そして心豊かな個性ある子どもたちとの出会いがあったからこそと思っております。

変わりゆく社会情勢やそれに伴う子どもを取り巻く環境の変化を感じる中で、保育の在り方や保育者としてのあるべき姿を探し求める日々であります。子どもたちの目標に向かってひたむきに努力する姿や、友だちとのかかわりを通して優しさや思いやりの心を身につけて成長していく姿に接し、大きな喜びを感じるとともに、その姿から保育者としての心構えや在り方を学んでいます。この度の表彰を受けて、子どもたちと一緒に感動や新たな発見を共有しながら過ごすことができることの幸せを噛みしめ、保育者としてのやりがいを改めて感じております。

これからも、人生の基礎を培う乳幼児期という大切な時期に深く関わることができるとへの自覚と責任を強く持ち、子どもの心に寄り添う保育の実践に努めてまいりたいと思います。併せて周りの方々との絆を大切にしながら、より一層精進してまいりたいと考えております。誠にありがとうございました。

鹿 児 島 市 支 部

鹿児島市支部では、総務・政策・経営研究・教育研究・広報の5常置委員会を設け、それぞれの委員会が年間計画を立て実践し成果を上げた。

1 重点課題

- (1) 各補助金の増額要望と「新制度移行希望園」についての合議。

※ 一時預かり事業（一般型）の幼稚園導入の実現

- (2) 幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園の趣旨を生かした保育研究「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」の研究

- (3) 教員の資質向上を目指す各種研修会への参加促進

・各ブロックの研修活動の充実。公私立幼稚園保育研究会への参加

- (4) 自己評価及び学校関係者評価の実施と公表の充実

- (5) 幼稚園・認定こども園の学びを社会に認知してもらうための企画充実

※「リビングかごしま新聞」との連携（広報の在り方）

- (6) 円滑な接続を目指した幼保小連携の充実。小学校長会との連携・充実

- (7) 個々に応じた発達支援の在り方と個別の指導計画・支援計画の作成

- (8) 幼児の健やかな育ちのために、保健・衛生・食育の充実

- (9) 安心・安全で楽しい幼稚園の環境づくりへの取組み強化

2 総務委員会

- (1)「ホームページだより」の発行(2)幼稚園免許の上進に向けての情報(3)「鹿児島市私立幼稚園・認定こども園ガイドブック」の作成

3 政策委員会

- (1) 市当局への助成等の要望と子ども未来部との連携

- (2) 加盟園全園の一致協力した活動の取組みとPTA・振興議員との連携

4 経営研究委員会

- (1) 理事長・園長研修会にて幼稚園教育要領等の理解を図った。

ア 令和元年6月20日（木）

講師 上園正人氏（保育幼稚園課課長）「幼児教育の無償化について」

講師 宇都弘美氏（鹿児島女子短期大学教授）「学生の職業観」

イ 令和元年8月26日（月）

講師 上園正人氏（保育幼稚園課課長）「幼児教育の無償化の実務対応」

5 主幹・主任・中核リーダー等研修会

講師 広瀬健一郎氏（純心女子大学准教授）「カリキュラムマネジメント」

講師 下吹越かおる氏（指宿市立図書館長）「子どもと本の絆」

6 教育研究委員会

- ①教育課程・指導計画の編成と作成の充実 ②教師の資質向上と指導力向上のための研修の充実

- ③研修会の参加促進 ④主幹・主任教諭の資質向上（主任研修会の充実）

- ⑤第19回「絵本の読み聞かせ活動発表会」令和2年1月22日（水）の実施

7 広報委員会

①「かごしま市私立幼稚園だより」の発行②新入園児募集活動の広報③第16回「かごしま市私立幼稚園フェスタ」9月7日（土）の実施
※約3000人の来場があり、幼稚園の良さ発信に尽力した。

（支部長 富永 宏）

南 薩 支 部

南薩支部は、枕崎市、指宿市、南さつま市、南九州市の12園が加盟しています。

令和元年度南薩支部の活動としては、夏季と冬季の2回研修会を開催しました。

8月10日（土）の夏季研修会では、栄養士の西恵子先生をお迎えして、「乳幼児の食について」を演題にして、講演をしてもらいました。

2月1日（土）の冬季研修会では、HAS発達支援センターの理事長松田翠先生を講師にお迎えして、「発達支援について」～事例、療育と幼稚園の連携、支援方法など～を演題にして、講演をいただきました。

先生方からの意見も活発で実り多い研修になりました。

園長会、主任会も開催して、様々な課題に対処しています。

今後も、南薩12園の連携を深めながら支部活動を盛り上げていきます。

（支部長 下川床 泉）

西 薩 支 部

西薩支部は、北は出水郡長島町から南の日置市までと南北に細長い支部で18園が加盟しています。

今年度は、鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会西薩大会が行われ支部として若干の不便はありましたが、皆様方のご協力のもと無事終了することができましたことを感謝いたします。

支部の活動としては、年4回行われる教育研究委員会で、夏の西薩支部教職員研修大会の企画と準備をし、支部における課題などを協議しました。昨年は、8月に夏期教職員研修会を、今年度は鹿児島純心女子大学にて行いました。

支部PTAの活動として、11月18日（月）に西薩ママさんバレーボール大会を薩摩川内市のサンアリーナせんだいにて開催し、楽しく親睦をはかることができました。

新しい制度がスタートして5年目となり、新制度の見直しの時期となっています。各市町で子ども子育て支援会議が開催され子ども子育て計画支援事業計画の見直しが行われています。良い見直しができるように努力していかなければと思うところです。

同じ支部の中に違った形態の園や同じ園に認定の違う子どもたちが、混在することの違和感が、なくなってきたように感じられます。

昨年10月より、幼児教育・保育の無償化が始まり、償還払い手続きに関する事務作業量の増加や預かり保育児の増加による保育の質の保証、幼児教育時間に係る準備時間の確保等の新たな課題や人材不足という恒常的な問題等、関係各所と連

支 部



携をとりすべての子どもの最善の利益のために、また、素晴らしい幼児教育の提供のできるように努力していきたいと思います。

(支部長 島谷 精利)

大 隅 支 部

大隅支部では、3月20日の支部総会で今年度の活動をはじめました。「大隅地区私立幼稚園教師研修大会」を6月1日、鹿屋カトリック幼稚園で開催。午前中は県大会での助言もご依頼していた藤川和也先生（鹿児島女子短期大学講師）をお迎えして、「遊びが充実するための環境と教材研究」と題して講演をいただき、午後からの分科会では各園の研修レポートを持ち寄り、問題提起園である大根占幼稚園を中心に熱心な討議が行われました。新たな試みとして今年は研修会后、場所を移して懇親会も計画し、相互の交流を深めました。また「主任研修会」は隔月奇数月、年6回開催。大隅地区研修会テーマは勿論、様々なテーマに基づき学びと情報交換の時となりました。1月には県下2回目のECEQ公開保育が西原幼稚園で行われ、主任研修会も兼ねる形で多数の出席をいただきました。認定こども園に移行した園が半数を超える中、外に出向いての研修参加に困難を感じる園も増えてきつつありますが、「私学は研修が命」という思いで、様々な形で支部研修も工夫継続していきたいと考えています。四市三町に広がる大隅支部は21園と広範囲の大所帯ですが、PTA活動も含め全園大変協力的で心から感謝しています。

(支部長 吉井 健)

始良・伊佐支部

始良伊佐支部は、霧島市14園、始良市6園、伊佐市1園の21園が加盟しています。今年度は新加盟園が1園と新しい顔ぶれの中、年度初めの始良伊佐支部設置者園長会に於いて年間の計画を立て実施しました。

① 資質向上研修会の実施

教職員の資質向上と指導力向上の為資質向上研修会を研修ハンドブック俯瞰図に沿って実施。

・第1回資質向上研修会（担当：認定こども園 あさひ幼稚園）

講演 「私立幼稚園・認定こども園における社会人としてのマナー講座」

講師 森 比佐代先生（（有）カルチャーコネクション）

会場 第一幼児教育短期大学 3階アゼリアホール

・第2回資質向上研修会（担当：あいら幼稚園）
講演 「保護者・地域との連携について～幼稚園・認定こども園における方法と事例～」

講師 菊池美保子先生（始良市スクールカウンセラー・適応指導教室指導員）

会場 第一幼児教育短期大学 3階アゼリアホール

② 地区教職員研修会・主任研修会・設置者園長会の実施

地区教職員研修会においては、6月29日各園教職員参加のもと、鹿児島県中央児童相談所の山下豊氏を講師として開催。また主任会においては交流会を通じて各園主任がまとまり県教職員研修大会分科会を充実させました。設置者園長会は定期的に開催し、無償化への対応やその他の課題に対して各園の協力のもと実施してきました。

③ 合同就職説明会参加

8月9日県私立幼稚園協会主催の合同就職説明会への参加。各ブースにて参加学生への説明、園の紹介が行われた。参加園の中にはそのまま内定にまでつながったケースもあったが、人材不足に対しての課題は今後も検討すべき懸案事項である。

④ 養成校就職担当訪問

地域にある第一幼児教育短期大学の就職担当へ訪問。本年度の学生就職状況を確認するとともに、県外就職者が増えている現状もあった。なお、県外の法人は頻りに学校に足を運んでPR活動をしている様子。地元出身の卒業見込み者が少なく需要と供給のバランスはまだ不安定である。今後養成校や行政、保育協議会、地域とも協力して幅広く取り組める方策の必要性も考えます。

⑤ 幼児教育無償化への対応

本年度より幼児教育無償化が実施されました。副食費や預かり保育の取り扱いについて設置者園長会や保育協議会において意見交換をしました。今後も様々な課題に対して全体で協力していきたいと思います。

⑥ 幼稚園ナビの登録推進

全日私幼連が開発の人材確保を目的とした、全国版総合情報ナビサイト「幼稚園ナビ」の登録推進を実施。また地区研修会においては、ナビを利用した研修登録のトライアルを実施しました。順調に幼稚園ナビの活用が進んでいます。

(支部長 若松 忠洋)

熊毛・大島支部

熊毛・大島支部は種子島6園、屋久島3園、徳之島2園で構成されています。

離島の為、全園が集まることは難しいですが、熊毛地区と大島地区においてそれぞれ教職員の研修、園長、主任会等を定期的に開催しています。熊毛地区では年2回の定期研修を夏期研修として5月25・26日に、冬期研修として1月18日に実施しました。夏期研修は2年に1度の宿泊懇親研修として西之表市で実施しました。教研大会のテーマに基づいた各園の実践発表、問題提起園の深い研究発表を行い、グループディスカッションで意見交換が行われました。懇親会では支部の交流も深まり、各園の意見交換もできたのではないかと思います。冬期研修では新しい研究テーマのをいただき、捉え方、2年間の研究の進め方等を出し合いました。それぞれの園で取り組み方は違いますが、深い、意味のある実践を行っていきます。また、園長会では様々な分野の研修の計画をと意見を出し合っていたりしながら次年度の計画を立てられたらと思います。離島ながらの各園、様々な問題点を抱えていますがそんな時だからこそ、協力し合い、高め合いながら活動に取り組めたらと思います。支部園の皆さまありがとうございます。

(支部長 岩川 臣之介)



令和 2 年度の主な行事（予定） = 2020 =

行 事 名	期 日	場 所	行 事 名	期 日	場 所
第 1 回新任教員研修会	4 / 3 (金)	マリンパレス か ご し ま	第 59 回鹿児島県私立幼稚園協会 教職員研修大会 鹿児島大会	7 / 27 (月) 7 / 28 (火)	宝山ホール他
県私幼協会・県 P T A 監事監査	4 / 13 (月)	協 会 事 務 局	第 21 回幼児教育・保育実践講座 ※免許状更新講習（1 日目）	8 / 5 (水) 8 / 6 (木)	マリンパレス か ご し ま
一般社団法人私幼協会理事会	4 / 17 (金)	協 会 事 務 局	教員採用候補者試験 合同就職説明会	未 定	未 定
一般社団法人退職金基金社団 監事監査	4 月 / 未定	協 会 事 務 局	第 11 回幼児教育実践学会	12 / 20 (日)	東 京 都
一般社団法人退職金基金社団理事会	4 月 / 未定	協 会 事 務 局	令和 2 年度 設置者・園長研究協議会（県私幼）	9 / 24 (木) 9 / 25 (金)	城山ホテル鹿児島
県 P T A 指導者研修会	5 / 12 (木)	サンロイヤル ホ テ ル	第 35 回 九州地区 P T A 研修会	未 定	未 定
一般社団法人県私幼協会総会 一般社団法人退職金基金社団総会	5 / 15 (金)	マリンパレス か ご し ま	全日私幼設置者・園長 全国研修会	未 定	福 島 県
県 P T A 連合会総会	5 / 28 (木)	黎 明 館 講 堂	令和 2 年度 保育教諭等研修会	11 / 10 (火) 11 / 11 (水)	マリンパレス か ご し ま
全国私立幼稚園退職金団体協議 会総会・研修会	6 / 11 (木) 6 / 12 (金)	山 梨 県	九州地区私立幼稚園 退職金団体代表者会議	未 定	宮 崎 県
県主任等研修会	6 / 23 (火)	マリンパレス か ご し ま	九州地区免許状更新講習講座	12 / 5 (土) 12 / 6 (日)	福 岡 県
第 36 回九州地区設置者・園長研修大会 （佐賀大会）	6 / 25 (木) 6 / 26 (金)	佐 賀 県 市 唐 津	第 2 回新任教員研修会	12 / 25 (金)	マリンパレス か ご し ま
第 36 回九州地区教師研修大会沖縄大会 （2 日目分科会）	7 / 21 (火) 7 / 22 (水)	沖 縄 県	第 24 回 幼稚園等教育改善研究会	1 / 22 (金) 1 / 23 (土)	ホ テ ル リブマックス

令和 2 年度（2020 年度）

第 59 回 鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会 鹿児島大会（案） （鹿児島県私立幼稚園協会創立 70 周年記念大会）

大会テーマ「新しい時代を伸びやかに生きる」（1 年次）
～社会に開かれた質の高い幼児教育を～

〔日 程〕

第 1 日目 7 月 27 日(月)【分科会：鹿児島市支部 12 の幼稚園等】

9:30	10:00	11:30	11:45	12:45	15:35	15:45
	受付	公開保育 (保育参観・会場園見学)	開会 行事	昼食	問題提起・分科会 (中間に休息・後半に指導助言)	閉会行事 諸連絡 解散

第 2 日目 7 月 28 日(火)【全体会：宝山ホール（鹿児島県文化センター）】

9:20	10:20	10:40	10:50	12:00	13:10	14:10	14:30	16:00	16:20
	受付 (ポスター発表)	特別出演 (アトラクション)	開会式 準 備	記念式典並びに 開会式	昼 食 (ポスター発表)	講 習	休 息 (準備)	講 演	開会式 解散

ちゅくぱらん

今年度もあとわずかになりましたが、新型コロナウイルスの影響で世間はこれまでにない対処を求められています。3 月からは小中高の休校要請がされましたが、受け皿確保を確認しない中での要請に現場としてはそれぞれに苦悩もあった事とお察しいたします。

さて今年度は新しい元号『令和』がスタートしました。昭和・平成・令和とその時代時代に私立幼稚園が担ってきた役割は大変大きなものだったと思います。そして令和元年は「幼児教育・保育の無償化」が実現しました。保護者にとってはとてもありがたい制度だと思えます。しかしながら、現場としては家庭の役割低下を心配する声もあります。取り組むべき課題は常にありますが、これまで同様、鹿児島県私立幼稚園協会が担う今後の役割は大変重要だと思えます。加盟園みんなで力を合わせて、未来の子ども達の為に新しい時代を作っていきましょう。

調査広報委員 若松 忠洋